



～JA事業紹介編～ まんが：じっく

第106話 ～営農振興課より～

集落営農組織の設立・法人化の相談承ります！



主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話を聞きながら、将来の自分を見つめます。JAは、各地域の営農組織の経営や法人化へのサポートなどを行っています。今回は、集落営農組織へのメリットについて紹介します。

集落営農組織のメリット

① 人のメリット

共同生産をみんなで行うため
気持ちが楽になるし、自分の都合
の良い時に出役することで自分
の時間も確保できる



② 作物のメリット

栽培技術が統一され品質が安定し
単収が増える。水稲以外に
園芸作物への導入も可能。
園芸作物の規模拡大で
組織の活性化にもつながる

③ 農地のメリット

自分が耕作しなくても営農組織に
耕作してもらえ・任せることで
農地を管理してもらえる。
荒廃農地の発生防止になる

④ 機械のメリット

機械・施設を
共同利用できるため
過剰投資を防げる

特にこの4つは
大きな利点だよ

